

別表1(第4条関係)

1 補助事業の分野		2 補助事業の内容
対象分野	枠	
①次世代デバイス ②バイオ・食品 ③健康・福祉サービス ④まちなかビジネス ⑤コミュニティビジネス ⑥観光ビジネス ⑦農林水産資源ビジネス ⑧次世代サービス	一般枠	左記①～⑨に該当する事業において、革新的な製品・技術・サービスの開発、新事業の創出・ビジネス形態の転換等に向けた事業可能性調査、研究開発等を実施するもの
⑨環境・エネルギー	環境・エネルギー枠	

別表2(第4条関係)

1 補助メニュー	2 補助対象経費		3 補助率	4 補助金上限額	5 補助対象経費下限額	6 事業実施期間
	区分	内容				
調査支援型 新製品の開発、新サービスの提供、異業種への進出などの新たな取組に先立つ市場調査等の基礎的な調査研究に適用	1 原材料費	新商品の試作品の原材料・副資材の購入経費又は実験等に要する原材料・試薬・動植物等の購入費	3分の2	100万円	75万円	最長12か月
	2 ソフトウェア開発環境使用料	ソフトウェア開発に必要な開発環境の使用料(サーバー利用料等)				
	3 機器・設備使用料	機器・設備の借用又は機器・設備を有する外部施設等の利用に要する経費				
	4 委託費	実験・研究の外部委託に要する経費、新商品の試作品の品質・性能の評価の外部委託に要する経費又は試作品等の開発の外部委託に要する経費(県内事業者が実施したものに限る。ただし、止むを得ない事情で県内事業者への発注が困難と事前に県が認めた場合については、この限りでない。)				
	5 共同研究費	県内外の大学等と共同研究契約を締結して行う共同研究経費				
	6 外部専門家受入経費	補助事業者自らが新分野や新サービスに関する専門知識や、新商品開発のための技術的ノウハウ等を得るために行う、外部専門家の受入に要する経費(専門家への旅費・謝金、専門家を招いての従業員講習のための会場借上料等)				
	7 その他の経費	その他研究開発に必要と認められる経費(市場や技術の動向を調査するために参加・出展する展示会等の入場料・出展料、新サービスや異業種進出の可能性を調査するためのセミナー等の参加費、新サービスや新商品の消費者モニター調査等の協力者へ支払う旅費・謝金、職員旅費、文献等購入費、ニーズ調査や実験用の消耗品、通信運搬費、事務雑費など)				
一般枠、環境・エネルギー枠共通						

1 補助メニュー	2 補助対象経費		3 補助率	4 補助金上限額	5 補助対象経費下限額	6 事業実施期間					
	区分	内容									
研究開発支援型 【研究開発】 基礎的な調査研究を終え、その結果を踏まえ事業化に向けてより具体的に発展させた研究開発に適用	共	1 原材料費	新商品の試作品の原材料・副資材の購入経費又は実験等に要する原材料・試薬・動植物等の購入費	2分の1	500万円	500万円	最長24か月				
		2 ソフトウェア開発環境使用料及び購入費	ソフトウェア開発に必要な開発環境の使用料及び購入経費(サーバー利用料や開発に必要なソフトウェア購入経費など。取得金額30万円未満のものに限る。)					一般枠			
		3 機器・設備費	機器・設備の購入(取得金額30万円未満のものに限る)、借用、修繕、改修に要する経費又は機器・設備を有する外部施設等の利用に要する経費					環境・エネルギー枠			
		4 減価償却費	研究開発に供するため新たに購入する、取得金額30万円以上の機器・設備又はソフトウェアについて、補助事業実施期間中に発生する減価償却経費								
		5 委託費	実験・研究の外部委託に要する経費、新商品の試作品の品質・性能の評価の外部委託に要する経費又は試作品等の開発の外部委託に要する経費(県内事業者が実施したものに限る。ただし、止むを得ない事情で県内事業者への発注が困難と県が事前に認めた場合については、この限りでない)					3分の2	500万円	500万円	最長24か月
研究開発支援型 【産学共同プロジェクト】 県内中小企業者と県内大学・高専・公設試が連携して製品化・事業化を目指して新産業基盤技術を創出する産学共同プロジェクト ※県内大学・高専・公設試等との連携が必須	通	6 共同研究費	県内外の大学等と共同研究契約を締結して行う共同研究経費。	2分の1	1,000万円	1,000万円	最長24か月				
		7 外部専門家受入経費	補助事業者自らが新分野や新サービスに関する専門知識や、新商品開発のための技術的ノウハウ等を得るために行う、外部専門家の受入に要する経費(専門家への旅費・謝金、専門家を招いての従業員講習のための会場借上料等)					一般枠、環境・エネルギー枠共通			
		8 直接人件費	研究開発に直接従事する従業員、アルバイト等の研究開発に従事する時間分の給与、賃金 補助対象経費の配分は補助対象経費の合計の50%以内とする(ただし、補助事業の内容が情報通信技術関連の研究開発の場合は適用しない)。								
		9 産業財産導入費	必要な産業財産権を導入するための経費								
		10 その他の経費	その他研究開発に必要と認められる経費(市場や技術の動向を調査するために参加・出展する展示会等の入場料・出展料、新サービスや異業種進出の可能性を調査するためのセミナー等の参加費、新サービスや新商品の消費者モニター調査等の協力者へ支払う旅費・謝金、職員旅費、文献等購入費、ニーズ調査や実験用の消耗品、通信運搬費、事務雑費など)								

(注) 研究開発支援型において、補助対象経費区分5、6及び8は、それぞれ補助対象経費の50%以内とする。

別表3(第5条関係)

補助金交付申請書の提出先

1 補助メニュー	2 補助事業者の主たる事務所の所在地(注)	3 補助金交付申請書の提出先
調査支援型	鳥取市又は岩美郡若しくは八頭郡の町	鳥取県知事
	倉吉市又は東伯郡の町	中部総合事務所長
	米子市若しくは境港市又は西伯郡若しくは日野郡の町村	西部総合事務所長
研究開発支援型	県内全市町村	鳥取県知事

(注) 県外に主たる事務所をもつ者が、県内に設置する支社等で調査・研究開発を行う場合は、当該県内支社等の所在地と読み替える。